

都市計画道路 丸子中山茅ヶ崎線 街路整備事業

1 事業の目的

県道45号(丸子中山茅ヶ崎)は、横浜・川崎と湘南地域を結ぶ幹線道路です。横浜市域は、既に4車線で整備されていますが、大和市内は慢性的な交通渋滞が発生しており、歩道も狭く歩行者等の通行に支障となっています。

そこで県は、横浜市境から国道467号の桜ヶ丘交差点付近までの約1km区間について、交通渋滞の緩和と安全な歩行空間を確保するため、平成15年(2003年)から4車線化事業に取り組んでいます。

現在、事業用地の約8割を取得しており、まとまった用地が確保できた箇所から順次道路を拡幅する工事を実施しています。

なお、事業区間内には埋蔵文化財の存在が知られている土地(埋蔵文化財包蔵地)があるため、工事を行う前の発掘調査が必要となり、着工までに時間を要しています。

また、本事業にあわせて、市道上和田84号(旧藤沢町田線)から小田急江ノ島線の桜ヶ丘1号踏切までの区間は、交通安全対策として歩道整備を進めています。

今後も引き続き、地元の皆様のご理解ご協力をいただきながら、用地取得や工事を推進してまいります。

2 事業の概要

- 事業箇所： 大和市上和田字谷戸頭から上和田字新道【位置図・平面図参照】
- 事業延長： L = 1,017m
- 計画幅員： W = 27.0m (標準部)【横断図参照】

3 現地の状況と完成イメージ



【交通渋滞の状況】

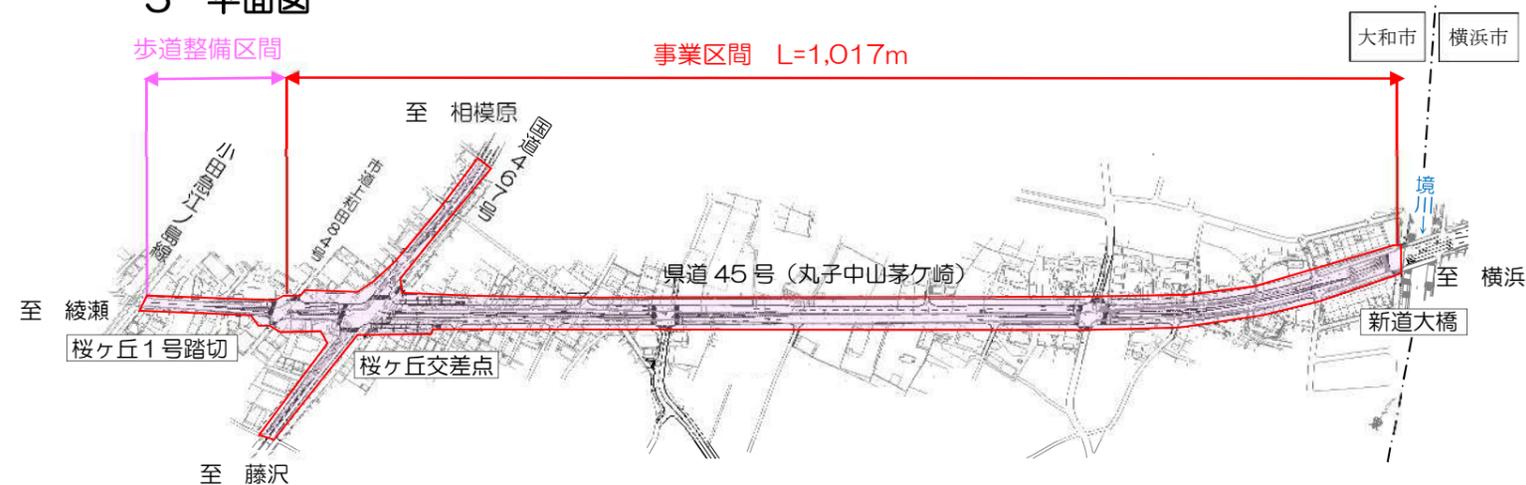


【完成イメージ】

4 位置図



5 平面図



6 横断図

